

研究に関するお知らせ
**(研究課題名 : REMAP-CAP : 新興・再興感染症と市中肺炎を対象とする
国際アダプティブ・プラットフォーム試験)**

和歌山県立医科大学では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。現在ご自身で研究参加の判断が難しいと考えられる方においては、家族や親族等からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対してもご対応いたします。

■研究目的

この研究は市中肺炎の患者さんを対象としています。市中肺炎とは、病院の外で日常生活をしていた人に発症する肺炎で、原因の多くは細菌です。現在流行している新型コロナウイルス感染症も市中肺炎の原因の一つです。

治療において原因となる病原微生物を早急に特定することが重要ですが、検査結果が出るまでには数日から1週間程度かかるため、最終結果前から複数の治療法を開始することが肝要です。また新型コロナウイルス感染症には新しい感染症のため、最適な治療方法は分かっていません。この研究は国際多施設研究で、研究に参加する世界中の施設から患者さんのデータが集められ、随時解析を行うことにより、市中肺炎に対してより効果的な治療法について検証を行う研究です。

■研究期間

承認日～西暦2028年3月31日

■研究の対象となる方

上記研究期間中に当院もしくは他院で COVID-19 および重症市中肺炎と診断され当院に入院された方

■ご協力頂く内容

この研究の対象者に該当するかを確認する作業をスクリーニングといいます。スクリーニングの際に、患者さんの入院日、ICU入室日、ICU入室理由、入室時の検査データの情報を登録し、研究に使用させていただきます。

スクリーニングの結果、研究対象者となり得ると医師が判断した場合は、研究への参加について説明文書にて説明を行い、書面にて同意を得てから研究にご参加いただきます。

■研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。
その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

■研究参加について

スクリーニングの情報について、登録をご希望されない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。お申し出のあった患者さんの情報は、研究データとして使用することはありません。また、お申し出により何ら不利益を被ることはありません。研究に参加される場合でもされない場合でも、患者さん個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。

【お問い合わせ先】

<研究実施医療機関名> 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座

<所在地> 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1

<お電話番号> 073-447-2300

<研究責任医師> 宮本恭兵